

科目名	メディア心理学Ⅰ		後期	2 単位
サブタイトル	メディア心理学概論		講義	
担当者	栗田 聡子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
①社会背景と心理学の発展を背景に、メディア心理学の歴史と歩みについて理解することができる。②メディア心理学には基礎的な心理学の知識が不可欠であることを理解できる。③多様な興味を持つメンバーで構成されたグループでの討論を通して発表準備をし、他者に対してわかりやすく説得力のある方法で伝えるコミュニケーション能力を身につけることができる。				
[授業概要]				
私たちは、急速に発展しているメディア技術により日常的に膨大な情報を処理し、SNS上で人間関係を構築し、仮想現実空間でも存在するようになりました。メディア心理学は、メディアの形式や内容が個人の認知や感情、そして集団や社会に影響を与える過程について理解を試みる学際的な分野です。超高度情報化社会でこの分野の研究がますます必要とされる背景や欧米を中心に培われてきた知見について学び、日本の視点からも検討していきます。(教員は過去にテレビ番組の制作を経験していることから、その経験から得た知見も加えて指導します)				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
現実に起こっている国内外のメディア関連情報について心理学の観点から考えながら、前回の授業内容の理解を深め、次の授業のテーマについて予習をしておくこと。参考文献(主に英語)も読んでおく理解が深まります。各回、予習・復習合わせて3時間程度。				
[授業計画]				
1. イントロダクション:メディア心理学とは？				
2. マスメディアの発展と効果研究①強力vs.限定的効果				
3. マスメディアの発展と効果研究②カルティベーション効果と社会的学習理論				
4. メディアの利用と満足理論				
5. ニュースと心理:議題設定理論とフレーミング				
6. メディアと説得①3つの要素				
7.メディアと説得②無意識の説得				
8. メディアと感情①動機活性化と注目				
9. メディアと感情②感情の測定				
10. グループ発表準備				
11. グループ発表				
12. グループ発表				
13. まとめ(全体の総括)				
* スケジュールは変更になる可能性があります。				

科目名	メディア心理学Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル	メディア心理学概論	講義	
担当者	栗田 聡子		
[成績評価方法] 期末試験(50%)と課題(20%) グループ発表と積極性(30%)を総合的に評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:心理1-1／心理学の方法論を理解し、基本的知識と技能を修得している。 成績評価方法:総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:心理3-1／心理学とそれに関連する諸分野の知識・技能を、主体的に修得しようとする意欲と姿勢を身につけている。 成績評価方法:総合的に評価する。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:総合的に評価する。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			